



せきやど 関宿地区農地・水・環境保全管理協定運営委員会（千葉県野田市） のだ

- 野田市の北部に位置し、利根川と江戸川にはさまれた水田地帯に位置している。
- 本地区は以前より「藻刈（もがり）」と称し、農家全戸による水路沿いの草刈りを実施していたが、農家の高齢化等により作業が負担となっていた。
- また、遊休農地の増加もあり、組織の発足を契機に、法面へのカバープランツの植栽や遊休農地を活用し、ひまわりの植栽や農業体験を実施し、農家の負担を減らすとともに地域住民との交流を図り、今では地域住民の活発な参加がみられる組織となっている。

【地区の概要】

- ・取組面積：193.3ha  
(田163.4ha、畑30.0ha)
- ・資源量：水路 54.5km  
農道 40.1km
- ・構成員 自治会、PTA、改良区等  
20団体
- ・交付金 約17.6百万円  
農地維持支払  
資源向上支払(共同、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 当該地域は、農家や農業従事者の高齢化により、草刈り(藻刈)作業が負担になってきている。
- 農業者の高齢化等により耕作できない農地が増えてきておりその有効活用が課題となっている。
- 新住民が増えてきている中、地域としてのまとまりを作っていくことが課題となっている。



芝焼き

藻刈(草刈り)

取組内容

- 草刈り作業の労力の軽減を目的に法面へのカバープランツの植栽を検討してきた。当初はヒメイワダソウやセンチピートグラスの苗の植え付けなど試験的に実施してきたが、センチピートグラスの種をパルプ片と共に法面に吹き付ける工法が有効とわかり採用し計画的に整備している。



整備後の法面

種の法面吹き付け作業

取組の効果

- センチピートグラスは維持管理も楽なため、令和5年度時点で15,000㎡が整備済、来年度も2,000㎡の実施を予定している。
- 実施済みの法面では、草刈り労力の軽減、景観の向上及び法面の土砂崩れ防止の効果が確認されており、地域住民からも景観が良くなったと非常に評判が良い。



未実施場所との比較